

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	18-	7	
事業名	笹尾コミュニティーセンター経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	3
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名	生涯学習係	
	3-1-3	生涯学習の推進			
主要施策	①社会教育関連施設の充実		⑤学習成果の活用		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	中央公民館の分館として地域住民の芸術、文化及び社会教育の向上を図り、併せて社会福祉の増進に寄与する。
事業内容	中央公民館の分館として、地域住民のクラブ・サークル活動や地元自治会等のコミュニティ活動などに施設を提供する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年（目標）	
指標	1	施設利用者数		20,274	21,154	人	→	21,000	
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成29年度（決算）		平成30年度（決算）		平成31年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					6,565	13,428	12,871		
財源内訳	直接事業費A				6,565	8,196	7,639		
	うち一般財源				4,269	6,039	5,430		
人件費（千円）B					0	5,232	5,232		
内訳	一般職員（人・千円）				0	0.25	1,650	0.25	1,650
	臨時職員（人・千円）				0	1.99	3,582	1.99	3,582

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	築28年を経過し、外壁改修、照明LED化等の大規模な改修が必要になっている。
②H30年度に実施した取り組み	夏季の高温対策として1、2階廊下にエアコンを設置。火災受信機の取替え、屋上防水の部分補修など施設の利用環境向上と維持管理に努めた。	④今後の改善計画	今後大規模な施設改修を行うため、公共施設総合管理計画（個別計画）の早期策定に取り組む。